

2007年8月22日

## Hydrogen 7 六本木ヒルズを走行

森ビル株式会社 代表取締役社長 森稔氏、森美術館理事長 森佳子ご夫妻BMW Hydrogen 7を試乗

ピー・エム・ダブリュー株式会社(本社:千葉県美浜区中瀬1-10-2、代表取締役:ヘスス・コルドバ)は、8月22日、森ビル株式会社殿(本社:東京都港区六本木6丁目10番1号)代表取締役社長 森稔氏、森美術館理事長 森佳子ご夫妻が、世界初の量産型水素・ガソリン駆動方式のプレミアム・セダン“Hydrogen 7”(ハイドロジェン・セブン)を試乗されたことを発表しました。

BMWは、未来の持続可能なモビリティを確保するために一貫して新技術内燃機関の開発を進めています。そして世界初の水素とガソリンどちらの燃料でも走行可能な、プレミアム・セダン、Hydrogen7が量産体制で開発されました。すでに現在100台が生産され、世界の政界、実業界、社会のオピニオリーダーに向け貸与されています。このたびの森ご夫妻のHydrogen 7ご試乗の機会は、BMWグループ・ジャパンの、日本における実業界のトップリーダーの方々へのイニシアティブの先駆けとなります。

代表取締役ヘスス・コルドバは次のように述べています。「日本のビジネストップリーダーの中で、森社長ご夫妻にHydrogen7の試乗機会を最初にご提供できたことを嬉しく思います。森ビル株式会社とBMWグループ・ジャパンは、ビジネス・コラボレーションパートナーとして長く協力的な関係を持ってきました。この機会が相互の理解をより深めるだけでなく、日本における水素インフラ整備にむけた大きなアピールとなることを期待しております。今日は我々ピー・エム・ダブリュー株式会社にとって記念すべき日となりました。」

また森ビル株式会社 代表取締役社長 森稔氏はコルドバ社長とともにHydrogen 7に同乗され、次のように述べています。「森ビル株式会社は、都市づくりを通して環境問題への配慮を主要なテーマに掲げ、省エネルギー化の徹底によるCO<sub>2</sub>排出削減と大胆な都市緑化策で地球温暖化問題に取り組んでいます。このたび、“未来の持続可能”をコンセプトとしたHydrogen 7の試乗体験を通じて、六本木ヒルズのコラボレーションパートナーであるBMWの一貫して環境に配慮する企業姿勢に強い共感を覚えました。」

BMWグループ・ジャパンは、東京都江東区の日本科学未来館にて「モビリティの現在・未来:水素エネルギー展」を7月4日～8月19日に開催いたしました。今後、札幌、仙台、大阪、名古屋、神戸、福岡、下関、京都にキャラバンツアーを実施し、各界のリーダーの方々とともに、広く一般にHydrogen7の展示および試乗の機会を提供する予定です。

### **ビー・エム・ダブリュー株式会社について(2007 年 7 月 1 日現在)**

ビー・エム・ダブリュー株式会社は、ドイツ・バイエルン州ミュンヘン市に本社を置く、プレミアム・ブランドに特化した、グローバルな自動車メーカーである BMW AG (Bayerische Motoren Werke Aktiengesellschaft) の 100%出資子会社で、欧州自動車メーカー初の全額出資子会社として、1981 年に日本に設立されました。以来ビー・エム・ダブリュー株式会社は、当時は珍しかった専売店網の構築に始まり、低金利ローンや認定中古車制度など、さまざまな業界標準を築き、製品、サービス、顧客満足の分野において常に輸入車業界をリードしてきました。ビー・エム・ダブリュー株式会社は全国の 281 (BMW: 187、MINI: 94) の正規ディーラー・ショールームを通じて BMW と MINI 製品の販売とアフターセールスを提供しています。また、BMW Motorrad (オートバイ) の製品・サービスは、自動車同様、専売店ネットワークを通して提供しています。

ビー・エム・ダブリュー株式会社は、2006 年には同社史上最高となる 62,198 台 (BMW: 49,014 台、MINI: 13,184 台) の新車を販売しました。また、BMW Motorrad は、2,776 台を全国のお客様にお届けしています。

ビー・エム・ダブリュー株式会社は現在 292 人の従業員を雇用しており、関連子会社に金融サービスを提供するビー・エム・ダブリュー・ジャパン・ファイナンス株式会社と、直営販社であるビー・エム・ダブリュー東京株式会社を有しています。